



2021年5月13日

各位

上場会社名 天龍製鋸株式会社  
代表者 代表取締役社長 大石 高彰  
(コード番号 5945)  
問合せ先責任者 取締役経営管理部長 堀内 敏晴  
電話番号 0538-23-6111

## 中期経営計画（2021年度～2023年度）について

当社は、2021年5月13日開催の取締役会において、中期経営計画（2021年度～2023年度）を策定しましたので、その概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 策定方針

中期経営計画の最終年度である2023年10月に設立110周年を迎える当社は、以下の社是・経営理念を信条に、鋸刃トップメーカーとして国内外のお客様の多様なニーズに応えられるよう、積極的な設備投資やコーポレートガバナンス・コードへの対応の強化を図り、さらなる持続的な成長と企業価値の向上に努める。

社 是 「誠実と和」  
経営理念 「感謝の心をもって、従業員の幸せと  
株主の幸せを追求し、社会の幸せに結びつけます」

#### 2. 重点戦略

##### (1) 効率的な生産体制の構築

国内（2か所）、中国（3か所）、タイ（1か所）の各生産拠点の特性に応じ、より効率的な生産体制を構築するため、世界基準を考慮した製品の集約化、デジタル技術を活用した自動化の推進や生産能力の増強を図り、さらなる生産コストの削減、納期短縮および品質向上を目指す。

##### (2) 新製品の開発および既存技術の向上

鋸刃製品によるSDGs推進の一環として、関係各社や研究機関等との連携強化を図り、歩留まりの向上、省エネルギーおよび鋸刃の長寿命化など環境に配慮した新製品の開発および既存技術の向上に努める。

### (3) バックオフィスの充実

2022年4月に予定されている東京証券取引所の市場再編や各種法規制の改正に対応し、広報活動の充実を図るとともに、海外子会社の管理強化を図り、企業価値の向上を目指す。

### (4) 脱炭素への対応

政府が表明した「2030年までの温暖化ガス排出削減目標46%減（2013年度比）」に対して、当社の現状の課題を明確にし、目標達成に向けて新技術への投資を積極的に行い、企業収益の向上を目指す。

## 3. 連結業績目標

	2021年度	2022年度	2023年度
売上高（百万円）	12,000	12,500	13,300
営業利益（百万円）	1,600	1,750	2,000
営業利益率（%）	13.3	14.0	15.0

### ※将来情報についての注意事項

本資料に掲載されている計画・見通しに関する内容につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づき作成したものであり、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により本資料の計画等と大きく異なる可能性があります。

以上